



昨年とは格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 本年も一層のお引き立ての程宜しくお願い申し上げます。
 令和三年 パークアルカディア スタッフ一同



ケビン村 宿泊基本料金

- 浴室なし A(洋室) B(和室)
- 浴室付 C(和室 2階造り)・D(和室)

2021年1/4(月)より
6月分の宿泊予約受付
スタート!

浴室付 21,470円 浴室なし13,930円

お得なキャンペーン中!

●ビジネスパックプラン

(2021年3月迄)

宿泊のご予約・お問い合わせ

ケビン村

常陸大宮市山方5858-13

Tel/fax 0295-57-6630

4泊5日以上での連泊の方限定 (5~8名様でのご利用)

C・D棟 (浴室付) 基本料金(5名)21,470円 → **13,930円**

宿泊者限定

●アーリーチェックプラン

午前10:00からチェックインOK!

A・B棟 日中利用基本料金3,230円 → **無料**

C・D棟(浴室付)日中利用基本料金5,330円 → **無料**



ケビン各棟は、エアコンや
温風ヒーター・掘りコタツで
冬でも快適に過ごせます。



プラネタリウム館

2021年1月5日(火)
新番組スタート!



上映時間

【平日】	【土・日・祝】
10:00	10:00
13:30	13:30
	15:00

観覧料

【個人】	【団体】20名以上
大人:300円	大人:240円
小人:100円	小人:80円
幼児:50円	幼児:40円

あらすじ

宇宙に地球が誕生し、やがていのちが生まれ、育まれてきた。数え切れない偶然と、絶妙なバランスで守られてきた地球。はるかな時を超え、この星に生まれ、大切な人に出会った奇跡。その奇跡のストーリーを平原綾香さんの深みのある歌や、優しい語りとともにお届けします。

上映期間 2021/1/5(火)~2021/3/31(木)

Tel/Fax. **0295-57-6161**

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)・第4火曜日

工作ができます

森林科学館

自由工作工房
見て・さわって
自然を感じよう!

自然の素材を使った工作は無料です。
有料工作もあります(¥100より)

有料工作

- ひのきのお箸
- オカリナ (大・小・動物)
- 不思議なコースター
- モコモコ砂絵のお皿
- ひかるどろだんご
- ウッドビーズストラップ
- プラ板ストラップ
- まが玉

Tel/Fax. **0295-57-2101**

休館日:月曜(祝日の場合は翌日)

1月の天体ニュース

年始めの流星群を観察しよう!

しぶんぎ座流星群は、8月のペルセウス座流星群、12月のふたご座流星群と共に三大流星群と呼ばれています。2021年の見頃は4日の夜明け前(2~5時台頃)です。条件が合えば1時間に20個程度見ることが出来るかもしれませんが、「しぶんぎ座」とは聞き慣れない言葉です。漢字で書くと「四分儀」となりますが、これは天体の位置を測定するのに用いられた道具です。

1月11日 半影月食

地球の影のうち半影と呼ばれる薄い部分に月が隠される半影月食が1月11日の未明から明け方にかけて起こります。

1月

レストラン山ゆり からのお知らせ



今月の山ゆいランチ

1,000円(税込)



お問い合わせ
レストラン山ゆり
常陸大宮市山方5858-6
TEL・FAX 0295-57-6868
営業時間 11:00~18:00
(ランチ 11:00~14:00)
月曜定休日(祝日の場合は翌日)



揚げ鶏肉の香味野菜のせ

～山ゆり特製だれ～

ツナとブロッコリーの和え物

ごはん 味噌汁 サラダ
デザート ドリンクバー



お正月の豆知識

1月7日。七草がゆ

7日の朝に七草が入ったかゆを食べて、その年一年の無病息災を願う風習。

この日は五節句のひとつ「人日」で、七草の日、七草の祝い、若菜の節(せち)等とも言います。

元々は中国で毎年官吏昇進を1月7日に決めることから、その朝に薬草である若菜を食べて立身出世を願ったのが「七草がゆ」の始まり。これが日本に伝わり、平安時代には宮廷の儀式として七草がゆを食べるようになりました。

一般に定着したのは江戸時代。

七種の若菜の生命力を吸収すると共に、青菜の不足しがちな時期の古人の優れた知恵です。

七草がゆは消化吸収が良く、正月のご馳走で疲れた胃腸を休め栄養補給をするという、実に理に叶った料理です。

雑煮

年神様に供えた餅を神棚から下ろし、野菜や鶏肉などで煮込んで作った料理で「雑煮餅」とも言いました。

元々は室町時代頃の儀礼的な酒宴などで出されていた物で、お正月に限ったものでは無かったようです。宴の始まりにただ縁起物の料理だったので、それが一年の始まりにいただくものとして庶民の間にも伝えられていきました。

雑煮は、地域によってそれぞれ特色があります。丸餅か角餅か。焼くか焼かないか。白味噌か…などなど本当に様々です。一般的には関東が角餅、関西が丸餅。関西で丸餅を使うのは、年神様に備える鏡餅を型どっている為と言われていました。



鏡開き

年神様に供えた鏡餅を雑煮やおしるこ等にして食べ、一家の円満を願う行事。一般的には11日に行います。

元々は鎧などの具足と一緒に供えた餅を雑煮にして食べる「具足開き」という武家の風習で、1月20日に行われていました。

三代将軍徳川家光が1月20日に亡くなった為、20日を忌日として避け11日に行うようになりました。

武家の風習であったため、刃物で切るのは切腹を連想させるので、手で割ったり、木槌で砕いたりしました。「切る」という言葉を避けて「開く」という縁起の良い言葉を用いています。

鏡は円満を意味します。